

令和6年度 授業づくりシート

教科名 自立活動		3 学年
単元名	「楽しく動こう！身身体と心を休めよう！～気持ちの切り替えをしよう～」	
単元の目標	・主身体的に身体を動かすことができる。 ・環境の変化に応じた活動に自ら取り組むことができる。 ・好きな身体勢や道具を使って、リラックスすることができる。 ・一連の活動を通して、気持ちの切り替えを学ぶことができる。	
児童の実態	A 児	個人情報のため省略
児童の個別目標	A 児	・活動に自ら取り組むことができる。（環境の把握）（心理的安定） ・環境の変化を受け入れることができる。（環境の把握） ・安心した気持ちで活動に取り組むことができる。（心理的安定）

○活動内容と具身体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具身体的な手立て
・ 始めの挨拶	・ 離席をしたり、その場から離れようとしたりする。（A 児）	・ 廊下に椅子を用意し、落ち着いて挨拶ができるようにする。
・ 友達と手を繋いでプレイルームに行く	・ 友達と手を繋ぐ経験が少なく一緒に歩くことが難しい。	・ 友達と手を繋ぐように促し、離しそうになったら繋ぐよう再度促す。
・ 「身身体を楽しく動かそう！」（活動前半） プレイルーム	・ 活動内容がわかるまで、教室内を歩き回ったり、その場にたずんだりしている。（A 児）	・ 教師の促しを受けて、トランポリンやボールプールなどの活動を一緒に取り組むようにする。
・ 「身身体と心を休めよう！」（活動後半） 自立活動室	・ 環境の変化に気が付くが、自らマットに横になることは難しい。（A 児）	・ 好きなマットや毛布等を用意して、本人が安心して休める環境を作る。必要に応じて初めは教師と一緒に横になる。
・ 友達と手を繋いでプレイルーム行く ・ 終わりの挨拶	・ 友達と手を繋ぐ経験が少なく一緒に歩くことが難しい。 ・ その場に立っていたり、フラフラしたりしている。	・ 友達と手を繋ぐように促し、離しそうになったら繋ぐよう再度促す。 ・ 椅子を用意して、落ち着いて終わりの挨拶ができるようにする。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
3 分	○始めの挨拶 ・ 挨拶と出席確認をする。 ・ 廊下に椅子を並べて、挨拶に集中できるようにする。 ・ プレイルームに友達と手をつないで歩く。	
10 分	○身身体を楽しく動かそう！（プレイルーム） ・ 児童が好きなエアトランポリンやボールプールを用意する。A 児 ・ 活動中楽しく活動したり、後半の活動への切り替えの手掛かりとしてテンポの早い曲をかけたりする。 ・ 自ら活動に参加できない場合は教師が手本を示したり、促したりする。A 児 （活動切り替え中） ・ 言葉で伝えるのではなく、児童が環境や活動の変化に気が付けるように曲を止める。 プレイルームから自立活動室に移動する。	
10 分	○身身体と心を休めよう！ ・ 個別リラックスできるようなクッションやマットを用意する。A 児 ・ 活動終了後、曲を消し、電気をつけ活動が終わったことに気が付けるようにする。 ・ 手をつないで友達と歩く。	
2 分	○終わりの挨拶 ・ 椅子へ促し、挨拶をする。	

○児童の授業に取り組む様子

A 児	（前期）…自教室での自立活動では、大好きなトランポリンで身身体を動かさない、好みのマットでも身身体を休めない様子が見られた。背景には、生活リズム（主に睡眠）が乱れていたことが影響していた。授業中には、その場で立ったり、泣いたり、自傷をしたりしていた。 （後期）…プレイルームから自立活動室で活動した。プレイルームでは大好きなトランポリンで思う存分身身体を動かす様子が見られた。自立活動室に作ったリラックスルームでは大きなクッションに身身体を預けてリラックスすることができた。場所を変えることで、気持ちを切り替えて取り組むことができた。
-----	--

グループ全体の反省・課題 等

- ・児童の活動の様子を見て、前期と後期で活動場所を変更した。前期に教室で授業を行っていた時より、後期にプレイルームで活動し、自立活動室に移動する流れにした時のほうが、自分から身体を動かしたりマットに横になったりする姿が多く見られ、効果的であったと感じる。しかし、プレイルームが苦手で不安定になってしまう児童もいたため、個別で先に自立活動室に行ったり入室せずに外から様子を見たりするなど、参加の方法を工夫した。グループ全ての児童が同じように参加ができる内容、方法をもっと探りたいと考えた。
- ・児童それぞれが見つけたリラックス方法を教室に持ち帰り、気持ちが不安定になった時に活用できるようにすると、授業で行ったことを日常に般化することができると感じた。